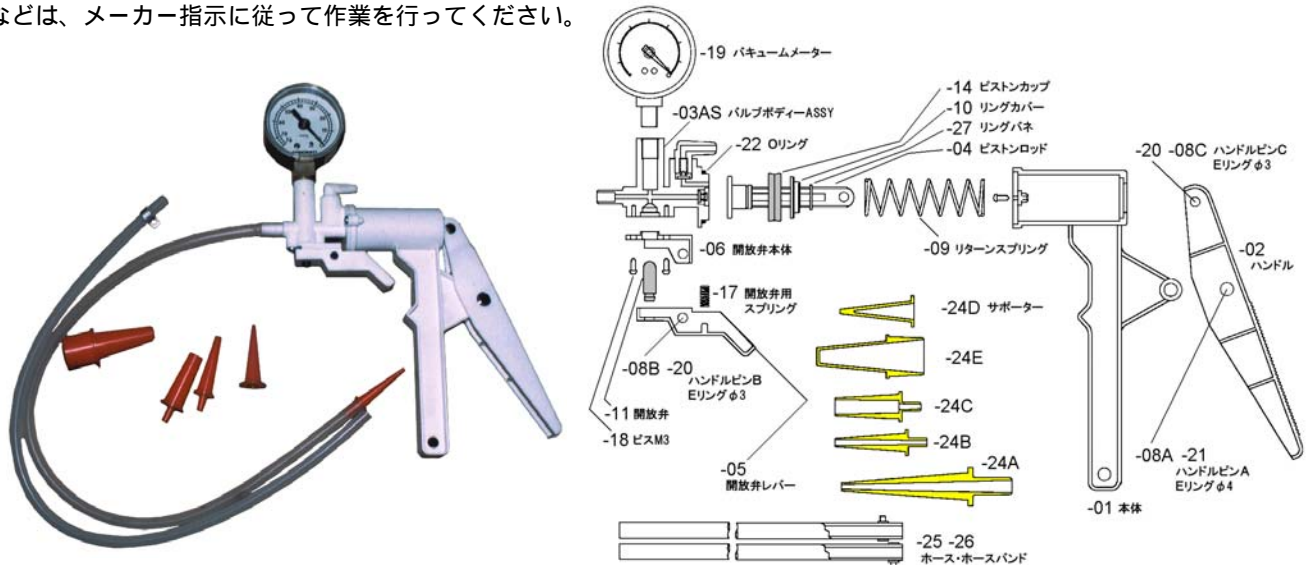


model : HV-956 VACUUMER

バキューマー取扱説明書

この度は、バキューマー：HV-956 のお買上げ誠にありがとうございます。本ツールは、主に自動車のエンジン関連機器に使用されている、バキューム圧により作動するスイッチ、センサー、コントロールバルブなどの機器の、点検調整用に開発されたハンディーバキュームポンプです。また、ターボ関連機器の点検調整の際は、ターボプレッシャーゲージなど、市販の正圧計または別売の正圧ゲージ：HV-956-CGをお求めいただければ正圧ポンプとしても使用できます。

正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用下さい。また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。

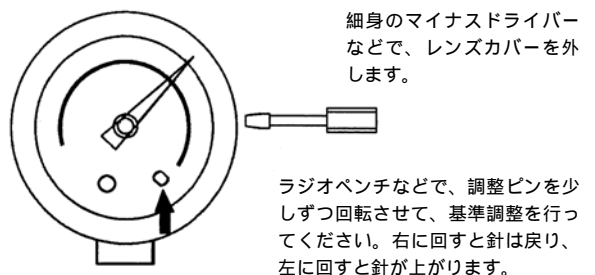


負圧計測範囲 0 ~ -100kpa(750mm/Hg)
 負圧発生範囲 0 ~ -85kpa(640mm/Hg)
 正圧発生範囲 0 ~ 150kpa(1.5kg/cm²)

部品発注の際は、HV-956の後に、部品図に記載されている番号をご記入の上、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。
 この取扱説明書は、作業時すぐ確認できる場所に保管して下さい。紛失された時は、販売店または当社営業所宛てご請求ください。

使用上の注意事項

- <!> 本体への接続は、液体やホコリなどの吸い込み防止のため、透明または半透明なホースを使用し、ホース内を確認しながら作業して下さい。
- <!> 正圧を発生させてゆくと、リターンコイルの力では、50kpa程度でハンドルが戻らない状態になります。この時は、ピストンロッドを押し込むようにハンドルを開いて下さい。これにより、より強く圧力を掛けることができますが、過大な圧力を掛けると、計測中の機器自体が破損する恐れがあります。必ず、正圧計を確認しながら整備要領書にしたがって作業して下さい。
- <!> 本ツールに液体を吸入させることはできません。誤って、ブレーキフルード、揮発性の油類（ガソリン、軽油など）を吸い込んだ時は、すぐに分解して各部品（メーターを除く）をきれいな水で洗って下さい。その後、十分に乾燥させて、ピストンカップにはシリコングリスを塗布して再度組み立てて下さい。
- <!> ポンプ能力が落ちた時は、バルブボディー部およびハンドルを分解し、ピストンカップおよび本体シリンダー内を、傷つけないよう慎重にクリーニングの上、シリコングリスを塗布して再度組み立てて下さい。
- <!> バキューム漏れが発生した時は、バルブボディー部、ハンドルおよび開放弁部を分解し、各部をクリーニングして下さい。ピストンカップまたは開放弁に、変形や傷、摩耗がある時は交換が必要です。組み付け時、ピストンカップにはシリコングリスを塗布して下さい。それでも漏れが止まらない時は、バルブボディー ASSY の交換が必要です。
- <!> 強い振動や、長期間の使用により、負圧計の指針が狂うことがあります。時々、適正值に調整を行って下さい。レンズ面横の細い溝に、マイナスドライバーなどを差し込んで外します。そして、お手持ちのバキュームゲージ（正確な計測が可能なもの）と本ツールを接続し、-40 ~ -50 程度の負圧を掛けて保持しておきます。この状態で、盤面の 0 点位置にある調整ピンを、ラジオペンチなどで左右に少しずつ回転させて、両ゲージの指針を合わせて下さい。



<<<< 使用方法 >>>>

負圧計測

負圧接続口にホースを差し込み、必要に応じてサポーターを使用して、計測する機器または配管に接続します。点検する車両の整備要領書にそって計測作業を行って下さい。

バキュームポンプ機能を使った各種点検調整

負圧接続口にホースを差し込み、必要に応じてサポーターを使用して、計測する機器または配管に接続します。

ハンドルを握ると負圧が発生します。点検する車両の整備要領書にそって計測作業を行って下さい。負圧解除レバーを引くと大気圧に戻ります。このレバーを微調整して、狙った圧力で保持させることができます。

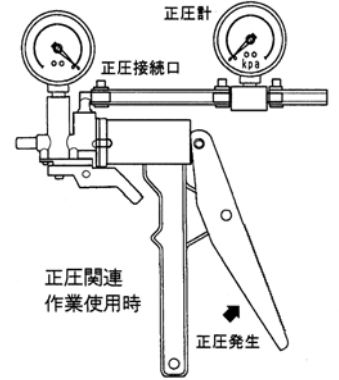
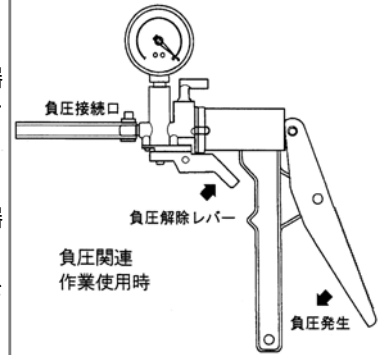
正圧ポンプ機能を使った各種点検

「注意」ホースや接続パーツには、必ずホースバンドを取り付けて下さい。

計測機器の耐圧性能を確認した上で、必ず正圧計を取り付けて、耐圧限度を超えないように注意してください。又、本ツールの耐圧限度は、150kpaです。

正圧接続口にホースを差し込み、点検する機器または配管との間に、正圧計（別途お求めください。）を取り付け接続します。相手側形状によってサポーターを使用します。ハンドルを握って放すと正圧が発生します。点検する車両の整備要領書にそって点検調整作業を行ってください。また、リターンスプリングの力では基準圧力に満たない場合、ピストンロッドを指でゆっくり押してください。

正圧側には、解除バルブがありませんので、目標とする圧力を超えないように、ゆっくりとハンドル操作を行ってください。作業終了後は、十分に安全確認の上、接続ホース類を取り外してください。



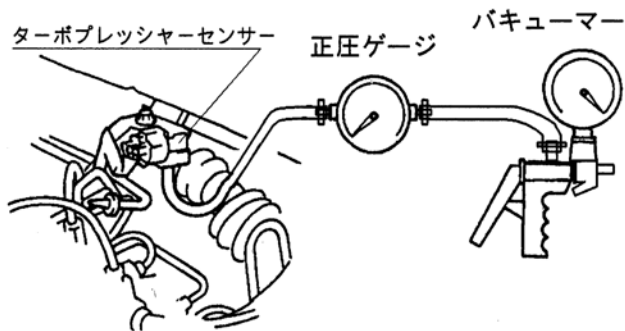
HV-956-CG : バキューマー用正圧ゲージ（別売オプション）の使用方法

イラストのように、バキューマー：HV-956 との間にホースを接続してご使用ください。

左右の接続口に方向性はありません。

一般のポンプでも使用できます。

ゲージとして使用の際は、接続口の片方をふさいで使用してください。



< > 接続各部には、ホースバンドを忘れずに取り付けてください。

